

保育士作業効率化を

名駅「てい先生」が講演

保育士に必要とされる能力や新しい働き方を考えてもらおうと、関東の保育園に勤める男性保育士で、ツイッターなどの発信が反響を呼んでいる「てい先生」が三日、名駅の大

名古屋ビルヂングで講演した。

来年四月、大府市に保育園を開設予定で、てい先生とアドバイザ

「契約を結ぶ「長屋心」（中区）が主催。講演は「二十一世紀の新しい保育と保育士の待遇改善について」

（中日新聞社後援）と題し、現役の保育士二百人が参加した。

てい先生は、書類の処理など「不要な作業、負担が増えているのでは」と指摘。その上で、「時間をかけて



先生を前にてい先生の名古屋ビルヂングで講演する保育士たち

子どもに向き合い、親にもきちんと対応する。本来、大事にするべき仕事のために作業を効率化し、きちんと休みも取るべきだなどと話すと、多くの参加者がうなずいていった。

（宮畑譲）